

教科	国語	科目	古典A	単位	2単位	年次	2年次
使用教科書	第一学習者『高等学校 改訂版 標準古典A 物語選』						
副教材	第一学習者『新版四訂 カラー版 新国語便覧』 数研出版『読解を大切にする 体系古典文法 八訂版』 数研出版『体系漢文 改訂版』						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

古典を学ぶこと目的は、古人の価値観や生き方に触れ、学ぶことを通して、自分達とどこが違うのか、または同じなのかを確認、発見することによって自分達と相対化することです。
相対化することで、現代に生きる自分達を見つめなおし、自分達の考え方や価値観は絶対的なものではないということを感じ取って欲しいと思っています。また、古典世界から自らが感じ取り、考えたことや学び取ったことを他者に発信するための表現力も磨いていってほしい、こう願っています。

2. 学習の到達目標

- ・国語を適切に表現し、的確に理解する。
- ・言語を適切に使用しながら、伝え合う力を高めるとともに、思考力 や想像力を伸ばす。
- ・古典や現代文の、物語・小説や詩歌、評論を読み通して、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- ・国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d: 読む能力	e: 知識・理解
観 点 の 主 旨	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	・取り組み姿勢(ノート、ワークシート、配布プリント等への記述)の点検 ・提出期限の厳守	・取り組み姿勢(ペアワーク、発表、発言等)の点検	・文法や文脈、論展開に注意を払っているか。(ノート、ワークシート、レポート等の点検。) ・定期テスト	・小テスト ・定期テスト	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点					評価方法
			a	b	c	d	e	
4	【導入】	古典の学習	○					小テスト 課題 発表・スピーチ 定期考査 作品 ワークシート
5	【古文】説話	「平中が事」	○		○	○	○	
6	【漢文】故事・寓話	助長・嬰逆鱗 画電点睛・推敲	○	○		○	○	
7	【古文】物語	「竹取物語」	○	○	○	○	○	
8								
9	【古文】随筆	「平家物語」 能登殿の最期	○	○	○	○	○	
10	【漢文】項羽と劉邦	「史記」 鴻門の会・四面楚歌	○		○	○	○	
11	【古文】物語	「大鏡」 雲林時の菩提講	○		○	○	○	
12	【古文】物語	「大鏡」 弓争い	○	○		○	○	
1	【漢文】諸家の思想	孟子・老子・莊子・韓非子	○	○		○	○	
2	【古文】物語	「源氏物語」	○	○	○	○	○	
3								

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 話す・聞く能力 c: 書く能力 d: 読む能力 e: 知識・理解

※ 原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容 小単元 の各項目において重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。